

第七回齋藤ゼミ議事録

2020/06/10(水)

担当：中村

1. ゼミ合宿

- ・ テーマアンケート
- ・ グループ決め
 - ① 生南・趙・徂徠・飯島・寺田
 - ② 藤江・鈴木采・濱岡・池田一・平野
 - ③ 清水・池田有・山内・助川
 - ④ 天野・中村・鈴木・鈴木政

2. ビジネスコンテストについて

新型コロナウイルスの影響により中止。

3. 朝イチ

- ・ 生南：IT 競争力 コロナが試す
→技術力は高いが、利用ができていない。ビッグデータの利用は世界で最下位。
- ・ 池田有：AI で瞬時に翻訳、医療教育も
→瞬時に翻訳ができれば、留学生が大学の授業を母国語で聞くことができる。
また、海外へ行くことのハードルが下がるのではないか。

4. 企業研究発表

企業：ファーウェイ
担当：藤江・鈴木采・寺田

○基本情報

- ・ 華為=我が国のために頑張る
- ・ 従業員数 19 万人
- ・ 売上 11 兆円超
- ・ 世界 170 か国以上進出
- ・ 任正非氏 (43 歳でファーウェイを創立)

○工場

- ・自動化が進んでいる。
- ・1台を組み立てるのに28.5秒。
- ・1本の生産ラインに必要な人数は17人。トヨタ自動車のOBを招いて改善した。

○事業

- コンシューマー向け事業
- 通信事業向けネットワーク事業
- 法人向けICT事業

・5Gとファ어ウェイ問題

- 米中対立問題。5 中国政府に情報を抜き取られる危険があるのではないか。
- ファ어ウェイの排除の動き。アメリカ製品のファ어ウェイへの輸出を禁止。

・グローバルICT人材育成

- サイエンス・インカレに協賛しファ어ウェイ賞を創立。

・コロナ対策

- 赤外線センサーで体温測定。

・AppGallery

- 独自のアプリストア。

○今後

・日本との提携強化

- 日本からの部品1.1兆円調達。

・6G

- 自動運転のレベル4、遠隔手術が可能になる。
- 基地局がたくさん必要になる。
基地局のシェア（ファ어ウェイ30.9%、エリクソン27%）

・1+8+N戦略

- 1：スマートフォン（太陽）、8：スマートフォンを支えるデバイス（太陽系の8惑星）、N：IOT機器（N個の惑星）